

みずほCustomer Desk Report 2016/04/01 号(As of 2016/03/31)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	112.69 AUD/USD
TKY 9:00AM	112.39	1.1332	127.28	0.9652	1.4373	0.7657
SYD-NY High	112.67	1.1412	128.22	0.9663	1.4426	0.7723
SYD-NY Low	112.11	1.1311	126.97	0.9571	1.4326	0.7634
NY 5:00 PM	112.57	1.1381	128.12	0.9618	1.4364	0.7658
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.82/10.28		△ 25RR	0.705	Yen Call Over	

NY DOW	17,685.09	▲ 31.57	債券市場	日本2年債	-0.1840	4.0bp
NASDAQ	4,869.85	0.55		日本10年債	-0.0290	5.9bp
S&P	2,059.74	▲ 4.21		米国2年債	0.7211	▲ 3.6bp
日経平均	16,758.67	▲ 120.29		米国5年債	1.2048	▲ 5.3bp
TOPIX	1,347.20	▲ 9.09		米国10年債	1.7687	▲ 5.4bp
シカゴ日経先物	16,820	▲ 215.00	為替市況	独10年債	0.1530	▲ 0.3bp
ロンドンFT	6,174.90	▲ 28.27		英10年債	1.4150	▲ 1.9bp
DAX	9,965.51	▲ 81.10		豪10年債	2.4890	▲ 0.7bp
ハンセン指数	20,776.70	▲ 26.69		USD/CNH	6.4639	▲ 0.0127
上海総合	3,003.92	3.27		ドルインデックス	94.64	▲ 0.20
USDJPY 3M Vol	9.95	▲ 0.19%	商品市況	CRB指数	170.521	▲ 0.45
USDJPY 6M Vol	9.82	▲ 0.22%		NY金	1,235.600	7.00
EURJPY 3M Vol	10.41	▲ 0.16%		WTI	38.340	0.02
EURJPY 6M Vol	10.36	▲ 0.16%		Dubai Spot	34.86	▲ 0.34

東京	朝方に本邦対内・対外証券投資の結果が発表されるも市場の反応は限定的となり、東京時間のドル円は112.39レベルでオープン、仲値にかけては実需勢のドル買い期待等から一時112.67まで急騰したものの、その後はドル買いの流れは続かず112円台前半まで反落。下落基調での推移が続いていた日経平均株価が下げ止まるとドル円も112.50 台を回復する局面も見られたものの、期末・年度末のバトロのフロー等も意識される中では上値の重い推移となった。一時112.15まで下落した後、112.28レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は112.28レベルでオープン。月末需要と思われる全般的なドル売りとクロス円の上昇に挟まれ、米金利の上下動と共に112円前半で小動きが継続し112.29レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.1320レベルでオープン、全般的なドル売り地合いとなる中、独金利や原油価格の上昇なども相俟ってユーロドルは断続的に上昇し1.1388レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルソー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	ドル円は112.29レベルでNYオープン。朝方は、米新規失業保険申請件数の市場予想より弱い結果を受けてドル売りが優勢となる中、原油価格が軟調に推移する動きもあり112.11まで下押しする。しかし米3月シカゴ購買部協会景気指数が予想を上回ったことや、ファントのドル買いが出ているとの思惑から112.53まで戻す。午後は明日の経済指標発表を控え、112.50付近での調整中心の値動きが続き、112.57レベルでクロスした。一方、ユーロドルは月末絡みのドル売りが持ち込まれているとの話に下値を切り上げ1.1388レベルでNYオープン。朝方は、海外市場の流れを引き継ぎ、10/16以来のレベルである1.1412まで上昇するが、その後はドル買いが優勢となったことから1.1378まで反落する。午後は、明日の米3月雇用統計、米3月ISM製造業景況指数発表を控え、閑散な取引が続き、1.1381レベルでクロスした。(NY 00531 113 682 井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 高田・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月31日	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	15:00	独 小売売上高(前月比/前年比)	2月 -0.4%/5.4%	0.4%/2.2%
	16:55	独 失業者数	3月 0K	-6K
	17:30	英 GDP・確報値(前期比/前年比)	4Q 0.6%/2.1%	0.5%/1.9%
	18:00	欧 消費者物価指数(HICP)	3月 -0.1%	-0.1%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	276K
	21:30	米 GDP(前期比/前年比)	1月 0.6%/1.5%	0.3%/1.1%
	22:30	米 エバンス・シカゴ連銀総裁講演	-	-
	22:45	米 シカゴ購買部協会景気指数	3月 53.6	50.7

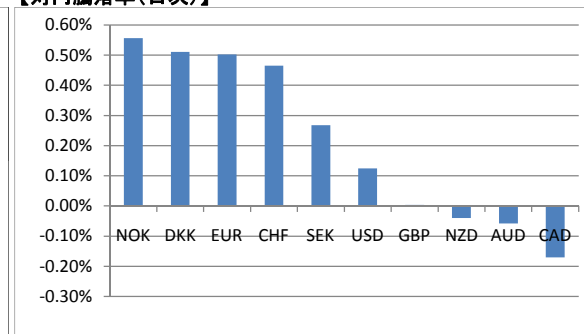
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月1日	8:50	日 日銀短観: 大企業製造業/製造業予測	1Q 8/7	12/7
	8:50	日 日銀短観: 大企業非製造業/非製造業予測	1Q 24/20	25/18
	8:50	日 日銀短観: 大企業全産業設備投資	1Q -0.7%	10.8%
	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	3月 49.4/-	49.0/52.7
	10:45	中 Caixin製造業PMI	3月 48.3	48.0
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	3月 205K	242K
	21:30	米 失業率	3月 4.9%	4.9%
	21:30	米 平均時給伸び率(前月比/前年比)	3月 0.2%/2.2%	-0.1%/2.2%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	3月 51.0	49.5
	23:00	米 ミシガン大学消費者信頼感指数・確報値	3月 90.5	90.0
4月2日	1:00	米 メスター・クレーブランド連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.00~113.00	1.1350~1.1450	127.50~129.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル/円は112円台前半で方向感なく推移。米新規失業保険申請件数をはじめ各種指標に対しても反応は限定的であった。本日の東京時間のドル/円相場は、米3月雇用統計を控え様子見ムードから一進一退の展開となるであろう。足元、FRB高官から米利上げに関して慎重な姿勢が示されており、トレンドは出難いと思われる。